

平成 30 年度 子ども大学はにゅう 学習の記録

～子ども大学はにゅう学習の記録～

1 日目：9 月 1 5 日（土曜日）

2 日目：1 0 月 2 0 日（土曜日）

3 日目：1 1 月 1 7 日（土曜日）

4 日目：1 2 月 8 日（土曜日）

1 日目：2 0 1 8 年 9 月 1 5 日（土） 埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前 9 : 00 ~ 9 : 30	入学式		埼玉純真短期大学
午前 9 : 45 ~ 10 : 30	いつ作る?今でしょ! (友達の方 教えます!)	高橋努先生 (埼玉純真短期大学)	
午前 10 : 40 ~ 11 : 40	パラリンピックを体験しよう	伊藤道雄先生 (埼玉純真短期大学) 埼玉県障害者スポーツの皆様	

今年も第 8 期「子ども大学はにゅう」が開催されました。

子ども大学を卒業した中学生、高校生が今度は運営側で小学生のサポートを行いました。

今回サポーターは 8 名の皆さんが務めており、自ら進んで行動し、協力し合います。



●受付

前回と同様に受付をサポートが担当します。
名前の確認や、参加費を受け取り、資料を渡す作業をそれぞれ分担し、参加されるお子さんやその保護者の方とやり取りを行いながら、対応しました。

この日はあいにくの雨でしたが、4年生8名、5年生4名、6年生7名の計19名が参加しました。



●入学式

いよいよ、第8期子ども大学はにゅうが始まります。

今回より、司会はサポーターにより進行をしました。まず、開式のことばが、埼玉純真短期大学の伊藤道雄先生からありました。

それから、藤田利久学長（埼玉純真短期大学）、秋本文子副学長（羽生市教育委員会教育長）よりお言葉をいただきました。





●グループの役割決め

今回の子ども大学では、多くの小学校から参加をしていただきました。サポーターが、話しやすい雰囲気づくりをしてくれ、自己紹介をし合うグループもありました。各グループでリーダー1名・感想係2名・発表係2名を決め、授業を行う教室へ移動をしました。



●1限目：「いつ作る？今でしょ！（友達の作り方 教えます!）」

第8期子ども大学はにゅうの記念すべき最初の講義は、高橋努先生（埼玉純真短期大学）による「いつ作る？今でしょ！（友達の作り方 教えます!）」です。

まず、はじめに「仲良くなるためにバースデーチェーンを作りましょう」ということで、誕生日（4月2日→4月1日）の順に輪になって並ぶ活動をゲーム感覚で行いました。ルールは「話をしてはいけない」「ジェスチャーで（指を使って表現をする）」ということです。沈黙の中、子ども大学生達と保護者の方も混ざって大きな輪を作りました。並び終わったら、名前と誕生日を言って答え合わせを行いました。並び順を間違わずに、見事並ぶことができました。

また、「五枚のコピー用紙を使って、どれくらい高く積めるかな？」という問いに、話し合いながら紙を折ったり、細長く丸めたり工夫を凝らして協力し合いながら取り組んでいました。「のり、セロファンテープ、ホチキス等の接着させるものは使わない」「10秒間崩れない」ことを条件に積み重ねていきます。

いよいよ本番、床に置いたフラフープの中にタワーを作ります。10秒間崩さないでタワーを作るのは意外と難しいようで、どのグループも苦戦していました。丈夫なタワーを作ったグループは1分近く崩れないものもありました。また、

あるグループは、三角や四角の柱を作り、とにかく高く積む事を目標にタワーを作りました。

子ども達の感想では、「協力することで、きずなが深まったと思います。」や「紙をどれだけ高く積めるかをやって、班ごとに仲良くなれたように感じました。」という意見が聞けました。



● 2 限目：「パラリンピックを体験しよう」

2 限目は、伊藤道雄先生（埼玉純真短期大学）による講義でパラリンピック競技「ボッチャ」の体験授業です。ボッチャ競技は、2 チームに分かれ、目標となるジャックボール（白いボール）に、赤・青のそれぞれ6 球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。カーリングにも似ていますが、年齢や障害に関係なく誰でも挑戦できる競技です。今回は講師として、埼玉県障害者スポーツ協会事務局長の青葉さんと石川さんが、ボッチャのルールを実践しながら教えてくれました。

4 グループで対戦し、ゲームが始まると大盛り上がりで、ジャックボールの近くに赤や青ボールが近づくと拍手が湧きました。途中、保護者の方や市役所職員、埼玉純真の教職員も一緒になって参加しました。

子ども大学生達からは、「ボッチャがとても楽しかったです。名前は知っていましたが、やったことがなかったので、今度のパラリンピックでも応援したいです。」「こういう体験はあまりできないので、とても楽しかったです。」などの感想がありました。



以上